



常潤をまるごと学んだ日



農業クラブ意見発表会

F科各クラス代表8名が、農業に関するそれぞれの意見を発表。専門学科や将来の進路に込める思いを述べました。

全校生徒が見守る中、利用者様の立場に立った丁寧な介護技術を披露しました。厳正な審査も行われます。



介護技術コンテスト

本校の食農プロデュース科と生活福祉科は、共に「命」を共通のキーワードとして日々の専門学習に取り組んでいます。

今回、本校初の両学科の学びをお互いに知る行事「常潤まるごとSTUDY」が行われました。食農プロデュース科の「意見発表会」と、生活福祉科の「介護技術コンテスト」を全校生徒が見守る中で実施。各学科代表生徒が、日頃の学びの成果を披露しました。

先生方による審査も行われ、それぞれの上位入賞者は学校代表として県大会に出場することになります。

生徒たちの感想(抜粋)

- L科生徒の感想 ● F科生徒の感想
- 農業が好きなんだなという感じが伝わってきた。
- F科の発表を聞いて、将来や学校の学びについて考えていることが分かった。
- 農業の楽しさや地域活性などの話を聞き、少しでも関心を持ちたいと思った。
- 利用者様に細かく声かけしているのがすごいと思った。
- みんな丁寧でしっかり動いていて、一つ一つの動作がきれいだった。

創立百周年に向けて

本校は、令和7年度に創立百周年という大きな節目を迎えます。この度、記念事業の一つとして、本校同窓会の皆様と一緒にサツマイモの苗を定植しました。

参加したのは、食農プロデュース科と生活福祉科の1年生。今の1年生が3年生になる年に、創立百周年を迎えることとなります。同窓会の皆様から丁寧に植え方をご指導していただき、約千本のコガネセンガンの苗が畑に植え付けられました。

同窓会では、このサツマイモを原料に周年記念の焼酎製造を企画しています。パッケージデザインは、今後本校生徒が考案する予定です。

植付け後は、常潤高校生で栽培管理を行っていきます。収穫が楽しみです。活動については、常潤だよりや学校ブログで発信していきます。

「食べる」を支える

生活福祉科の実習を紹介します。「食事介助」と「口腔ケア」の実習で、誤嚥を防ぐ正しい姿勢や食事の粘度について学びました。

実際に利用者役になることで、支援のあり方について考えることができました。

旬な情報を 毎日お届け!!

公式アプリ 公式HP



有機実証ほ場での実習



中央農道のアジサイ



砂の祭典サルビア引き渡し式